

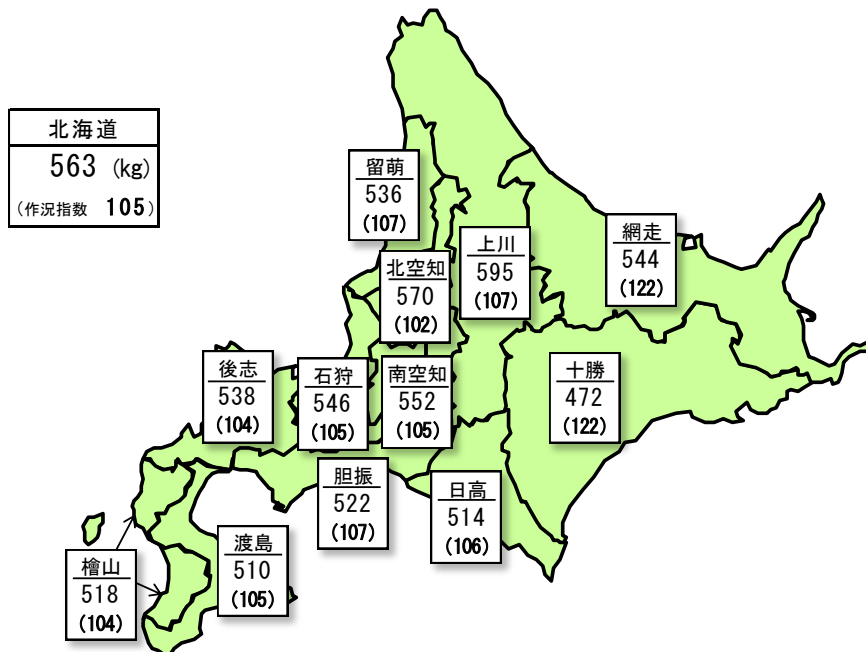
平成23年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況 (北海道)

－ 10 a 当たり予想収量は563kg（作況指数105）の見込み －

【調査結果の概要】

- 1 北海道における平成23年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は11万4,000haで、前年産に比べて1,100haの減少が見込まれる。
うち、主食用作付見込面積は、10万9,100haが見込まれる。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、10 a 当たり予想収量563kg（作況指数105）が見込まれる。
- 3 主食用作付見込面積に10 a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は61万4,200 tが見込まれる。

図 作柄表示地帯別10 a 当たり予想収量（9月15日現在）



平成23年産水稻作付面積及び9月15日現在の10 a 当たり予想収量（北海道）

区分	作付面積(青刈り面積を含む)			10 a 当たり 予想収量 ①	参 考			
	実 数	前年産との比較			主食用作付 見込面積 ②	予想収穫量 (主食用) ③=①×②	10 a 当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=①/④
		ha	ha					
北海道	114 000	△1 100	99	563	109 100	614 200	535	105

- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。
- 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- この調査は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったものである。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

【調査結果】

1 作付面積

平成23年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む）は11万4,000haで、前年産に比べて1,100haの減少が見込まれる。

これは、本年の生産数量目標が減少したことにより小麦、大豆、そば等に転換されたためである。

なお、水稲作付面積（青刈り面積を含む）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた主食用作付見込面積は、10万9,100haで、前年産に比べて3,300haの減少が見込まれる。

2 作柄の概況

9月15日現在における北海道の水稲の作柄は、10a当たり予想収量563kg（作況指数105）が見込まれる。

これは、穂数が6月全般の日照不足等によって「少ない」となり、全もみ数は「少ない」となったものの、登熟は7月及び出穂・開花期から登熟期全般にわたり良好な気象経過となったことから、稔実や粒の充実は平年を上回ることが見込まれ、「良」が見込まれるためである。

なお、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は61万4,200tが見込まれる。

【統計表】

平成23年産水稲の作付面積、10a当たり予想収量及び作柄概況（9月15日現在）
（作柄表示地帯別）

区 分	作付面積(青刈り面積を含む)			10a当たり 予想収量 ①	参 考		平 年 比 較			
	実 数	前年産との比較			10a当たり 平年収量 ②	作況 指数 ③=①/②	穂 数 の多少	1穂当たり もみ数 の多 少	全もみ数 の多少	登 熟 の良否
		対 差	対 比							
	ha	ha	%	kg	kg					
北 海 道	114 000	△ 1 100	99	563	535	105	少 ない	多 い	少 ない	良
石 狩	7 760	△ 50	99	546	518	105	少 ない	多 い	やや少ない	や や 良
南空知	22 900	△ 600	97	552	525	105	少 ない	やや多い	少 ない	良
北空知	28 900	△ 300	99	570	558	102	少 ない	やや多い	少 ない	良
上 川	30 600	△ 100	100	595	555	107	少 ない	多 い	やや少ない	良
留 萌	4 580	△ 60	99	536	499	107	少 ない	多 い	やや少ない	良
渡 島	3 100	50	102	510	486	105	少 ない	平年並み	やや少ない	良
檜 山	4 260	△ 20	100	518	500	104	少 ない	やや多い	やや少ない	や や 良
後 志	5 080	20	100	538	517	104	少 ない	多 い	やや少ない	良
胆 振	3 950	△ 10	100	522	488	107	やや少ない	やや多い	平年並み	や や 良
日 高	1 660	△ 60	97	514	484	106	少 ない	多 い	やや少ない	良
十 勝	18	△ 1	95	472	386	122	やや少ない	多 い	多 い	や や 良
網 走	1 160	△ 40	97	544	447	122	少 ない	多 い	やや多い	良

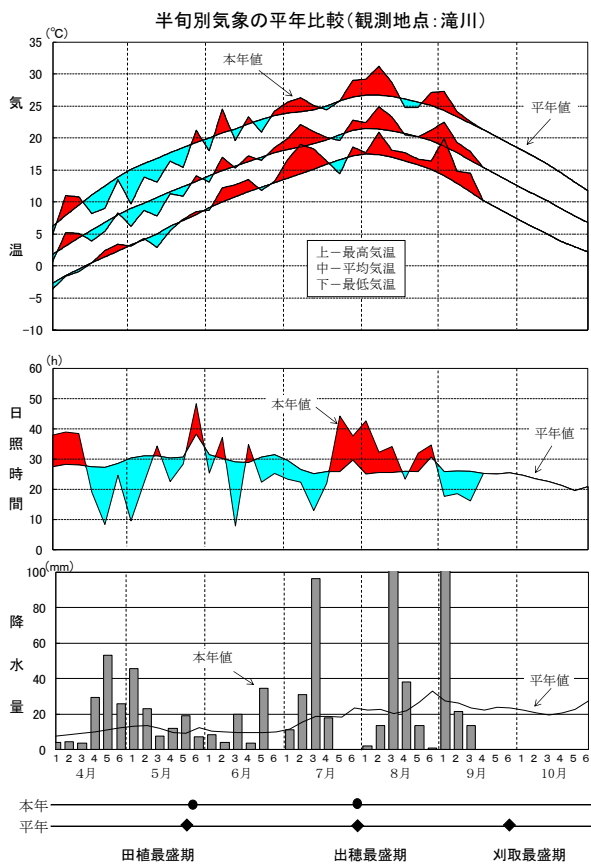
注：1）ラウンドの関係で、計と内訳が一致しないことがある。

2）表中の「△」は減少を示す。

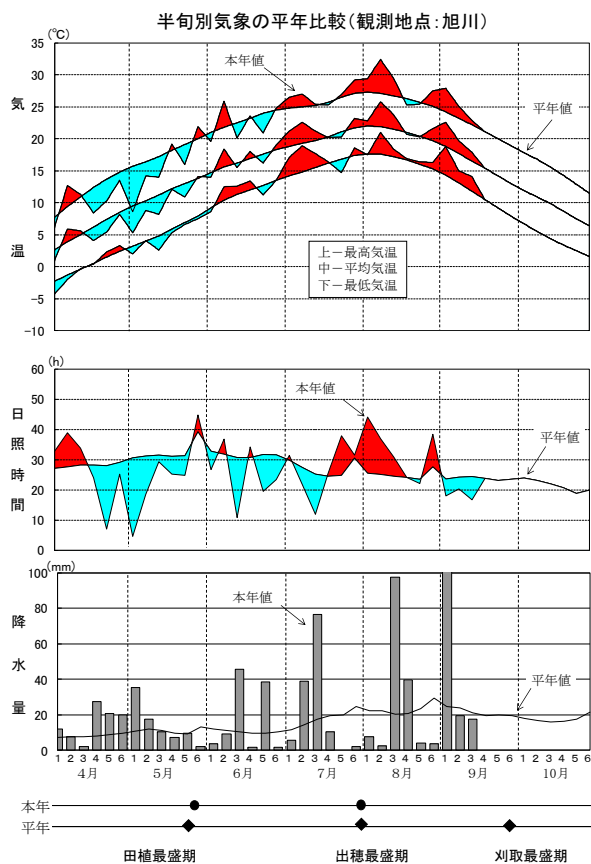
【気象経過】

気象経過と生育ステージ

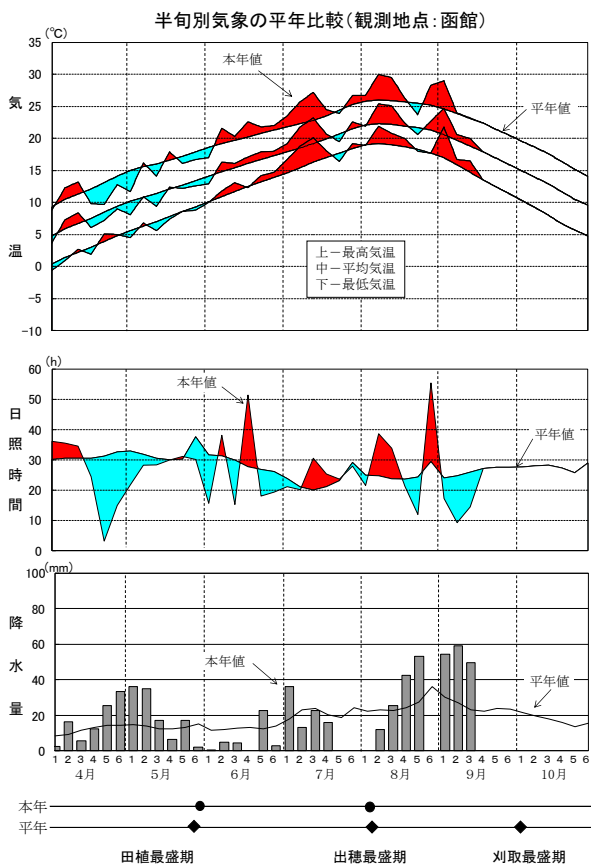
北空知



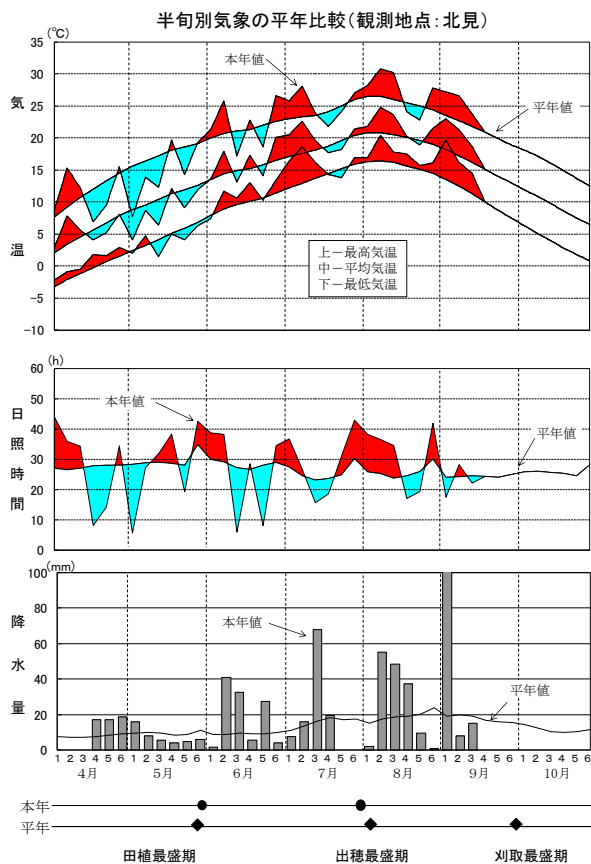
上川



渡島



網走



資料:「アメダス気象データ」

【関連するデータ、情報】

◎ 水稲調査結果の利活用

- ・ 「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」に基づき毎年定めることとされている「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標の策定及び達成状況の確認のための資料
- ・ 「農業災害補償法」に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

水稲の年次別推移(北海道)

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む)		10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考			
	う ち、子 実 用				主 食 用 作 付 面 積	収 穫 量 (主 食 用)	10 a 当 たり 平 年 収 量	作 況 指 数
	ha	ha	kg	t	ha	t	kg	
平成 13	123 100	122 000	526	642 100	…	…	526	100
14	121 000	120 200	482	579 800	…	…	528	91
15	117 900	117 800	385	454 000	…	…	528	73
16	120 500	120 500	518	623 900	…	…	528	98
17	119 100	119 100	573	682 600	…	…	528	109
18	115 500	115 400	558	643 900	…	…	530	105
19	116 100	116 000	520	603 200	…	…	532	98
20	114 600	114 600	565	647 500	110 900	626 600	534	106
21	114 500	114 400	475	543 400	112 500	534 400	535	89
22	115 100	114 600	525	601 700	112 400	590 100	535	98

注:1 作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積である。

3 「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲作付面積調査及び水稲作柄概況調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査対象数

- (1) 作付面積調査 標本単位区：1,591単位区 巡回・見積り：179市町村
 (2) 作柄概況調査 作況標本筆：630筆 作況基準筆：43筆
 巡回・見積り：179市町村

3 調査事項

水稲の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

4 調査期間

- (1) 作付面積調査：7月15日現在
- (2) 作柄概況調査：9月15日現在

5 調査方法

- (1) 作付面積調査
調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。
- (2) 作柄概況調査
調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

6 集計方法

- (1) 作付面積調査
対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。
- (2) 作柄概況調査
調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

7 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指す。
- (2) 「穂数の多少」は、1㎡当りに出穂した全ての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (3) 「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についている全てのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (4) 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりの全てのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (5) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (6) 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たり穂数等）の平年値との比較である。

多 少 (良 否)	少ない (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多 い (良)
対平年比	94%以下	95~98%	99~101%	102~105%	106%以上

- (7) 「作況指数」とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率である。
- (8) 「10a当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10a当たり収量をいう。

8 作柄表示地帯

北海道における作柄表示地帯は、下表のとおりである。

作柄表示地帯	対 象 地 域
石 狩 南 空 知	札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、石狩振興局管内 夕張市、岩見沢市、美唄市、三笠市、空知総合振興局管内のうち南幌町、由仁町、 長沼町、栗山町、月形町
北 空 知	芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、空知総合振興局管内のうち 奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、 沼田町、上川総合振興局管内のうち幌加内町
上 川	旭川市、稚内市、士別市、名寄市、富良野市、上川総合振興局管内のうち鷹栖町、 東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、 中富良野町、南富良野町、占冠村、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、 中川町、留萌振興局管内のうち天塩町、宗谷総合振興局管内
留 萌 渡 島 檜 山	留萌市、留萌振興局管内のうち増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町 函館市、北斗市、渡島総合振興局管内 檜山振興局管内
後 志	小樽市、後志総合振興局管内
胆 振	室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、胆振総合振興局管内
日 高	日高振興局管内
十 勝	釧路市、帯広市、十勝総合振興局管内、釧路総合振興局管内
網 走	北見市、網走市、紋別市、根室市、オホーツク総合振興局管内、根室振興局管内

9 利用上の注意

統計数値については、以下の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数	7桁以上 (100万)	6桁 (10万)	5桁 (万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100)
四捨五入する桁数(下から)	3桁	2桁		1桁	四捨五入しない
例					
四捨五入する前(原数)	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
四捨五入した後(統計数値)	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

10 その他

本調査(9月15日現在)は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

【ホームページ掲載案内】

この統計調査結果は、北海道農政事務所ホームページ中の「統計情報」－「農林水産統計」でご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html>

【問い合わせ先】

農林水産省 北海道農政事務所 統計部
 本公表資料に関する問い合わせ先
 生産流通消費統計課 生産統計第2係
 電話 : (011) 642-5619 (ダイヤルイン)
 その他農林水産統計資料に関する問い合わせ先
 統計企画課 企画係
 電話 : (011) 642-5609 (ダイヤルイン)